

# 渡辺大三 NEWS

2016(平成28)年11月29日号

編集発行 リベラル保守の会／渡辺大三と脱ムダ改革を進める会

【自宅】〒184-0012 小金井市中町 3-25-10-201

【連絡所】〒184-0004 小金井市本町 6-5-3-1F 小金井市民交流スペース内  
watanabedaizou@gmail.com FAX 042(381)5074

◆日々の報告や雑感は以下で発信しています。ぜひ facebook で友達になってください。

<https://twitter.com/watanabedaizou/>

<https://www.facebook.com/daizou.watanabe.5>



## 今こそ、政治に新しい潮流を 小池都知事の改革路線を「前へ」

通勤・通学途中のお忙しい中、「渡辺大三 NEWS」をお受け取りいただき感謝申し上げます。ぜひ御一読賜りますようお願い申し上げます。

今夏の東京都知事選で、私は、小池百合子候補を全力で応援しました。

きっかけは、日頃から一緒に活動している上田令子都議会議員(江戸川区選挙区／地域政党「自由を守る会」代表)から呼びかけがあったことと、小池さん本人から応援依頼を頂戴したことです。小池さんは、「本気で取り組む」と非常に力強く都政改革への決意を語っておられました。

私は、都内や首都圏の無所属系地方議員、地域政党系地方議員に小池候補の応援を依頼。告示直前に都心で「小池百合子さんを応援する超党派有志の会」を開催し、司会進行役を務めました。また、選挙期間中は、膨大な枚数の選挙ポスター貼り、都内の無所属系地方議員・地域政党系地方議員への選挙ハガキ依頼、小金井市内での小池さんの遊説などの応援活動を進めました(小金井市議会からは齊藤康夫議員と百瀬和浩議員にご協力いただきました)。



都知事選告示寸前。「小池百合子さんを応援する超党派有志の会」を主催。右端＝小池百合子さん。左＝司会進行を務めた上田令子都議会議員と渡辺大三。

もちろん、国政政党の推薦を一切受けない小池さんですので、非常に厳しい選挙になっておりました。しかし、多くの都民は、自民党都連や都議会自民党を中心とした都政の歪みにあきれ果てており、小池さんによる「情報公開」「コストダウン」「都民ファースト」「子育て支援」を主軸とする都政刷新に期待を寄せました。

結果は、主要国政政党が相乗りした二人の候補者を破って、小池さんが大差で初当選しました。

知事に就任された小池さんは、定数 127 人の都議会の中で、支援議員が「かがやけ Tokyo」の 3 人だけという厳しい状況下、公約の実現をめざして、揺るがぬ決意で取り組みを進めています。その小池知事の政治姿勢に対して、都知事選で対立候補を応援していた政党の支援者にも共感の輪が広がっているのは、非常に心強いことです。

もちろん現実政治の中で、厳しい判断を求められることや、厳しい立場に立たされることもあろうかと思えます。しかし、小池さんなら、必ずや首都東京から「新しい政治の潮流」を生み出してくれるものと信じています。

私は、この9月、小池知事からの依頼により、小池百合子政経塾「希望の塾」の事務局の一員になりました。東京多摩



都知事選期間中、東小金井駅南口で選挙遊説。

左端＝小池百合子さん。右端＝渡辺大三。

地域の地方議員からは、私一人が事務局に選任されました。責任の重さを痛感しつつ、塾の運営に関わっております。幸い、非常に質の高い塾生も多数入塾していただきました。塾生の中から、地方議会の在り方を変える新しい議員が多数登場することを願っております。

来年3月は小金井市議選ですが、その3か月後には、東京都議会議員選挙が行われます。小池知事が進める「情報公開」「コストダウン」「都民ファースト」「子育て支援」の都政を前進させるためには、改革に後ろ向きな都議会の構成を大きく変える必要があります。

都政改革を「前へ」進めるべく、小金井においても小池知事への応援の輪を広げていきたいと考えております。

## 市庁舎・福祉会館建設 西岡市長は決断を

10月4日の市議会本会議で、西岡市長は、昨年暮れの市長選における公約「4機能6施設複合化(市庁舎+福祉会館+図書館+集会施設)」をゼロベースで見直す旨を表明しました。その後、現在に至るまで、市庁舎・福祉会館等の建設見通しは明らかにされておりません。したがって、現在は「五里霧中」という状況です。

現在、小金井市は、市役所本庁舎は「耐震強度不足」、市役所第二庁舎は「高額賃料を垂れ流して賃借」、図書館本館は「手狭な上に老朽化」、福祉会館と公民館本館は「耐震強度不足で閉鎖」・・・という惨状を呈しており、市民サービスの観点や首都直下地震への備えという観点からも、これ以上の放置は許されません。

私は、西岡市長は、ただちに以下のことを決断すべきだと思います。

①市庁舎は、床面積を大胆に削減して、蛇の目ミシン工場跡地にすみやかに建設。

⇒現状の計画では床面積が1万2000㎡必要とされているが、現在使用している本庁舎は2700㎡であり、第二庁舎は6000㎡であることから、8700㎡の庁舎があれば現在と同等の床面積は確保できる。

②福祉会館は、蛇の目ミシン工場跡地にすみやかに建設。

⇒稲葉前市長が提案した「第二庁舎北駐車場用地への建設」は、当該用地の隣接マンションの耐震強度が著しく不足しており、耐震補強等の見通しが立たないことから、安全性の確保の面で問題が多いと言わざるをえません。また、いざ大震災の際には、市庁舎と福祉会館は一体で被災者支援の役割を果たすことから、別々の場所に建てることには合理性がありません。同一敷地整備が理想的です。

③図書館本館、公民館本館は、初期投資(税金の投入)が少ない方法で早期に建設。

⇒例えば、低未利用の市有地を活用すれば、その権利相当分の床を無償で市が取得して、図書館本館や公民館本館にすることができます。民間敷地と合わせて計画を立てれば、当該民間敷地相当分のビルから資産税を得ることができ、子育て支援など市民サービスの財源が生まれます。

1966(昭和41)年5月2日、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市を経て、1975(昭和50)年、小金井市貫井北町に転入。小金井市立本町小学校(本町)・小金井市立小金井第一中学校(桜町)、東京都立小金井北高等学校(緑町)、中央大学法学部政治学科卒業。

株式会社河北新報社(仙台北社)に新聞記者として就職、編集局配属。同社退職後、小金井市に戻り、中央大学在学中の衆院選で知り合った菅直人・衆議院議員の地元秘書を2年間務める。

1993(平成5)年、26歳(男性最年少)で小金井市議選に初当選。以降、6期連続当選(直近3回の選挙は無所属で立候補し当選)。

この間、議案提案権を活用して、情報公開条例、市民参加条例、住民投票制度をレベルアップさせる。また、「市役所の高額人件費問題」「情報公開の面で問題の多い公共事業問題」などを巡る複数の直接請求署名運動を市民の皆さんと一緒に進める。「脱ムダ」をスローガンに掲げ、市議会論戦に奮闘中。所属会派は「リベラル保守の会」(百瀬和浩議員との二人会派)。

現在、東京の地域政党「自由を守る会」(代表=上田令子都議会議員)の事務局長、小金井の地域政党「リベラル保守の会」(共同代表=百瀬和浩小金井市議・高木章成)の事務局長、行政監視団体「情報公開がねい」の共同代表を兼務。※国政政党には所属していません。

地域では、中央大学学員会小金井支部幹事、小金井北高等学校同窓会幹事長、小金井市商工会参与、貫井北町商工振興会事務局長、中町新愛会(自治会)相談役なども務める。

趣味=ダイエット(3年4か月継続中)と軽めの筋トレ。フルート(初心者/ただいま「また君に恋してる」という曲を練習中)。カラオケ(最近の歌は知りません)。愛犬ロクスケ(シーズ♂)との小金井散歩。山奥の秘湯を訪れること。ロングドライブ(車泊が多いです)。料理。

身長=約179cm/体重=約69kg。血液型O型。剣道二段。現在50歳。

## 渡辺大三と脱ムダ改革を進める会 会員募集中

私は、1993(平成5)年の市議初当選以来、行政や議会のムダ遣いをなくす活動を長年続けてきました。特に、「全国最悪」だった小金井市役所の高過ぎる人件費問題に関しては、継続的体系的に提案を続け、その削減(正常化)を進めてきました。まだ不十分ですが、ここ数年、削減効果が目に見えて現れてきています。

「渡辺大三と脱ムダ改革を進める会」は、いっしょに活動していただける皆さんを募集しています。

誰でも入会できるよう、固定額の入会金・会費は設けていません。

ぜひ表面連絡先(郵送、FAX、メール)までお申し込みください。宜しく願い申し上げます。